

闇バイトによる犯罪を減らすために行える対策

飯島 廉

- 1 闇バイトについて
- 2 動機
- 3 現在行われている対策
- 4 闇バイトが発生する原因
- 5 私の考える対策
- 6 まとめ

1 闇バイトについて

闇バイトとは、犯罪行為を行うことによって高額な報酬を受け取ることが出来るアルバイトのこと。闇バイトは詐欺や密輸、窃盗などの犯罪行為に関与させるための手段として利用され、SNS や匿名掲示板を通じて若者や経済的に困窮している人々がターゲットとされている。また、短期間で高額な報酬を受けられるバイトとして若者を中心に流行している犯罪であり、主犯格である指示役は秘匿性が高いアプリで指示を出し、若者を捨て駒として利用しているため、根本的な解決が困難であり、社会問題となっている。また、闇バイトは一度手を出したら抜け出すことが困難である。闇バイトに応募すると、指示役は巧みな言葉を用いり、少年に自分や親、交際相手の身分証明書を送らせる。少年の個人情報を獲得した指示役は、少年に断ると自宅に押し掛けるなどの脅迫をし、少年に犯罪を実行させる。少年は恐怖感を抱き、逃げる事が出来ない。また、犯罪を実行してしまった少年は、警察に相談することが出来ずに、何度も脅迫され続け犯行に手を染め続けてしまう。まさに、蟻地獄である。

2 動機

私は今まで「闇バイト」という存在は知ってはいたが、自分には全く関係ないものであると思っており、関心が全くなかった。しかし、2024年の8月～10月頃、埼玉、千葉、神奈川、東京の一都三県で闇バイトによる強盗事件が14件発生した。¹その事件のうち1件が近所で発生した事件であり、恐怖感を覚えた。この事件をきっかけに闇バイトは身近なものであると感じ、闇バイトの被害にあわないためにはどうすればよいか、闇バイトによる犯罪はどのように対策すれば減らせるのか関心を持ち調べることにした。

3 現在行われている対策

現在、闇バイトによる犯罪を減らすために様々な対策が行われている。例えば、警察は犯罪に関与してしまった少年などを対象にヤングテレホンなどの相談窓口を開設して闇バイトに関与してしまった少年らを保護する活動を行っている。また、企業や警察のサイバーパトロールの強化も行っている。アルバイト募集サイトにも闇バイトが潜んでいる可能性があるため、開発企業は闇バイトの疑いのあるものの取り締りを行っている。また、闇バイトの勧誘の多くはSNSであるため、警察は闇バイトの疑いのある投稿を取り締まる活動をしている。また、警察は闇バイト防止啓発チラシの発行もしている。闇バイトの危険性と相談場所を紹介したチラシを駅などの公共交通機関や学校などに掲載し、注意を呼び掛けている。また、SNSで闇バイト関連のワードを検索すると注意喚起のメッセージと相談窓口の電話番号の表示をし、闇バイトに関与してしまう少年を未然に保護する活動も行っている。その他にも、法律事務所や警

¹ NHK 闇バイトが実行役の一連の事件共通点は？身を守るには？ (2024.10.18)

[〈https://www3.nhk.or.jp/news/html/20241018/k10014612671000.html〉](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20241018/k10014612671000.html)

察が学校へ訪問し、闇バイトの勧誘の手口や危険性、相談場所についての紹介を行い、少年らの闇バイトについての知識を深めさせることによって事件を未然に防ぐ活動を行っている。

主にこれらのような対策が行われているが、実際にどれくらいの効果があるのだろうか

²2024年10月～11月末の1ヵ月半の期間で全国各地の警察が闇バイトの応募者を保護した件数は125件であり、とても多いと感じられる。この件数は過去最多であり闇バイトによる犯罪は増加傾向にある。

4 闇バイトが発生する原因

闇バイトによる犯罪を根本的に解決するためには、闇バイトが発生する原因を解明すべきではないだろうか。なぜ、少年らは闇バイトに応募してしまうのだろうか。大きな原因の一つが経済的困窮であると考えられる。アルバイトと学業面の両立が難しく十分な金額を稼ぐことが出来ない。また、物価の上昇により生活費の確保が難しくなっていると考えられる。その他にも、SNSが普及している現代社会の中でインフルエンサーが身に付けているブランド商品を真似て買いたいという欲や値段の高いブランド商品を身に付けて周りに認められたいという承認欲求が少年らに芽生え、生活の支出額が多くなっていることも原因の一つであると考えられる。また、闇バイトについて知識が乏しい少年らが多いことも原因の一つであると考えられる。警視庁による犯罪実行者募集の実態³によると、「どのような情報があれば犯行を思いと

² Yahoo!ニュース 闇バイト措置、125件に 本人や家族ら、警察庁 (2024.12)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/173ae5ee694cce60acf98a94f6f330dd665b4b36>

³ 警察庁 犯罪実行者募集の実態 ～少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実～

[yamibaitojirei.pdf](#)

どまることが出来たか。」という質問に対し、検挙された少年たちの回答は「闇バイトが犯罪役の募集であることやその仕組み、流れ」「個人情報を握られ、自分だけでなく家族も脅迫されることで、犯行グループから抜け出せなくなってしまうこと。」「警察に捕まるリスクや、刑の重さ罰金額。」などの声があった。このことから、闇バイトに手を出してしまった少年らは、闇バイトの危険性やリスク、怖さを知らずに手を出してしまったことが読み取れる。また、ある企業が実際のアルバイトの求人情報と闇バイトの求人情報の2つを250人の高校生に提示し、どちらが闇バイトの求人情報であるか全部で3問クイズを出した⁴。その結果、全問正解者は全体の23%であった。闇バイトの求人情報の特徴は「ホワイト案件」「叩き」「アイス」など危険性を隠した隠語である。そのため、少年らは危険なアルバイトであるとは知らずに応募してしまうケースも多くある。このことから、少年らの情報リテラシーが低いということが読み取れる。以上に述べた2点に当てはまる少年らが闇バイトに手を出してしまうと考えた。

5 私の考える対策

これらを踏まえ、効果的な対策とはなんだろうか。重要な観点は少年らの情報リテラシーを高めることと、闇バイトの危険性、リスク、怖さや手口、隠語。また、ヤングテレホンなどの相談窓口など必要不可欠な知識を身に付けさせることが重要である。そのために考えた対策はまず、警察と学校が協力し、闇バイトについての特別授業を行うことである。実際に闇バイトの手口や危険性などの紹介はされているという記事はあるが、私の周りの現役高校生にインタ

⁴ 東京都 特殊詐欺加害防止特設サイト [どっちが闇バイト？クイズでわかる“危険な求人情報”の見分け方](#) 〈[特殊詐欺加害防止 特設サイト](#) | 東京都〉

ビューをしたところ、「担任の先生から軽い注意をされただけで、詳しいことは何も聞いていない」という声があったため、学校での闇バイトについての教育を充実させるべきであると考えた。また、闇バイト防止のチラシも見たとない現役高校生が大半であったため、掲示の方法も改めて考え直すべきであると考えた。また、先ほど紹介したように、実際のアルバイトと闇バイトの求人情報は区別することが難しい。少年らの情報リテラシーを高め、判断能力を身に付けるために、警察や学校は実際に合った手口の紹介や隠語の紹介、蟻地獄になってしまうことなど、詳しい情報も提供すべきであると考えた。相談場所の紹介も重要である。警視庁の闇バイトについてのサイトを調べると、これらの情報が詳しく紹介されている。しかし、サイトでは闇バイトを調べ、サイトを開かなければたどり着くことはない。私はその対処法としてTikTokなどの流行しているショート動画アプリを利用し、インフルエンサーと警視庁などのコラボレーションをし、闇バイトについての知識を伝えることで、より若者の暮らしに寄り添って情報提供できるのではないか。また、根本的な闇バイト求人を減らすために、アプリ開発を行っている企業が取り締まりに力を入れ、犯罪紛いの求人を投稿したアカウントは凍結させるなどの対処をすることで、闇バイトに手を出してしまう少年らが減るのではないか。

6 まとめ

闇バイトは、高額な報酬を謳いながら、犯罪行為に関与させることで若者を犯罪の加害者として巻き込む深刻な社会問題である。闇バイトに応募してしまう大きな原因として、経済的困窮や承認欲求の増大、そして情報リテラシーの不足が挙げられる。また、少年たちが危険性やリスクを知らないまま応募してしまう現状も深刻な問題である。これらの背景を踏まえると、根本的な解決には、闇バイトに関する知識の普及と情報リテラシーの向上が欠かせない。効果的

な対策として、警察や学校が協力して特別授業を行い、闇バイトの危険性や手口を具体的に伝えることが重要である。また、現代の若者がよく利用する SNS や動画プラットフォームを活用し、警察とインフルエンサーが協力して注意喚起を行うことは、より多くの若者に情報を届けるための有効な手段となるだろう。さらに、アプリやウェブサイト運営企業が闇バイト関連の投稿を厳しく取り締まり、犯罪の温床となる環境を根絶する取り組みも必要である。闇バイトの問題を解決するには、個人や家庭の取り組みだけでなく、社会全体での包括的な対策が求められる。そうすることで、闇バイトが存在しない社会が期待できるとわたしは考える。